

一年を振り返って

会長 池田 直文



会長として、あれもしたいこれもしたいと思いは多くあったが、ひとつだけでも新規事業をやりたいと、『年賀はがきコンテスト』を実施した。また、東日本大震災の被災地のボランティアとして出かけた。1泊2日でしたが、台中クラブから預かった65万円と8月例会で集めた義援金を直接手渡した。このとき一般の大学生2名と一緒に行ってくれたのは郷土熱海として頼もしく嬉しく思った。二見委員長お世話様でした。

そして今年度ドッジボール大会では、カレーライスを選手、先生や父兄に振る舞った。青木、浅野両ワイズと共にメネットの皆様ありがとうございました。

一年間無事過ごせたのもメンバーの皆様のお陰で特に書記・会計の三役、中でも梅田ワイズには本当に感謝いたします。一年アリガトウゴザイマシタ!!!

書記 梅田 邦彦



何も分からない状態からのスタートで、皆様に大変御迷惑をお掛けいたしました。

池田会長の手厚いサポートで分からないながらも業務完遂する事が出来そうです。長いようで短かった1年間。

次期第一回役員会は東日本大震災当日からはじまり8月・9月と立て続けに大切なメンバー二人も失い心が折れました。震災復興支援で南三陸町に行き被災地を目の前に言葉を失い、被災地児童の笑顔に救われたあの日。

被災地児童バレーボールチームを招待したり、3月11日には復興支援物産展を開催し南三陸町のしゃきしゃきメカブを販売、ドッジボール大会で振る舞いカレーなどワイズメンズクラブの素晴らしさを知りました。新規事業の年賀はがきコンテストには、二見CS委員長の段取りの良さにビックリし、尊敬です!東日本区大会では、優秀クラブ賞を受賞する事が出来、池田会長の足手纏いにならなくて本当に良かったとひと安心しています。私の人生でもっとも勉強になった一年だと思ひ皆様に感謝しております。一年間本当にありがとうございました。

池田会長 楽しかったです!本当にありがとうございました!

プロ・ドラ委員長 小倉 幹史

池田年度において、プログラム・ドライバー委員長を拝命し、毎月の例会を滞り無く行える様、留意してきました。又会員各位の御協力を頂き、例会に多数の卓話者を御招きすることができましたことを感謝申し上げます。今年度は、例会場の移動が多く、越村副委員長、新会員の乙部委員には、例会で使用する備品その他の運搬・搬入等で、後楽園とYMCAセンターの間を行ったり来たりで活躍して頂きました。

ワイズメンズクラブ全体を考えてみますと、東日本区における事件があったり、熱海クラブでは、メンバーにて続けに2名の物故者が出る等のことがありましたが、雨降って地固まるの一年であったと思います。

皆様の御助言、御指導でどうか役割を果たすことができましたことを御礼申し上げます。

会報委員長 小原 進一

会報委員長は、過去10数年前引き受けた事があり、簡単な気持ちで始めてしまいました。7月・8月・9月号の取り乱し様は、今となっては恥ずかしいばかりでした。その当時と今とは印刷技術も発達し、色づかいもとても良く、下手な編集も見栄えは上々で、次第にずうずうしくなっていました。毎週つき合ってくれた委員及びメンバーの皆様、ありがとうございました。

EMC・会員選考・会則研究委員長 西島 智仁

10月の熱海、湯河原、グローリークラブの合同例会では渡辺ワイズの紹介で乙部君の入会式をすることが出来ました。乙部ワイズはドッジボール大会(審判)熱海YMCA総会、東日本区大会出席等、熱海クラブのメンバーとして活躍されています。又会則研究では熱海クラブ会則、運営規定を検討してきましたが、この数年一部の改定で文章化されていませんでした。今期中に文章化しようとしたのですが、資料集めに時間がかかり次期に引き継ぐことにしました。

新会員推薦では乙部ワイズを紹介された渡辺ワイズの他、田中ワイズ・中山ワイズ・深澤ワイズより推薦されましたが次期に引き継ぎます。

この1年間メンバー皆様の御協力に感謝、感謝です。

IBC委員長 鈴木 恵次

池田会長より、IBC委員長に任命されて、一年間アツと言う間でした。手探り状態だった7月8月、プリテンの発送に始まって、連絡が取れない、八代副委員長、栗本ワイズに助けられて何とか発送した。

つかの間の内に、韓国釜山アルファクラブ公式訪問の準備、10月28日に決定、日本語の解る韓国人にお願いして、趙(JO)会長と直接連絡を取る、話が通じたかどうか、不安を抱えたまま、募集開始、橋本団長以下11名+2名オブザーバー合計13名で参加、大歓迎されました。続いて、4月21日の京都パレス40周年+1記念例会への参加、池田会長以下14名、楽しい珍道中でした。委員会メンバーに恵まれ、熱海クラブ会員全員に助けられて、一年間頑張れました。ありがとうございました。

CS・TOF委員長 二見 康一

本年は大変な負荷を与えられた一年でした。新規の事業として市内中学生対象の「年賀はがきコンテスト」準備開催、東日本大震災への現地支援・物産めかぶの販売など、数多くの事業に取り組みさせて頂きました。委員の協力と執行部の叱咤に寄り切られつつ、メンバー各

